

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Grow-up松橋			
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月20日		～	令和 7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	10名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月20日		～	令和 7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間（活動室内）が清潔で心地よく過ごせている	毎日、職員全員で活動室内や施設内（特にトイレ）などの清掃や消毒を徹底して行っている。	今後も感染対策に十分気を付けて、消毒や清掃の徹底を行っていきたい。
2	毎日の活動内容の反省、計画を職員全体（時には他事業所含め）で行い、充実した内容の支援提供が行えている。	プログラムが固定化しないように毎日、新しい活動を取り入れている。また、こまめに反省を行い、次に生かしている。	1人々が楽しく安全に活動参加ができるように、今後もこまめな反省と計画を行っていく。
3	利用者さん御1人々が安心して通所できている方が多い。	職員1人々が利用者さんの特性に沿った支援を心掛けている。また、細かいことでも職員間で情報共有を行い、上司に報告をしている。	利用者さんの特性や気持ちに寄り沿った支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通常時の人員確保はできているが、強度障がいの利用者さんの多くが、不安定になられた際に、状況によって、更に職員が必要なときがあり、その時には（より人員が必要に感じる）意見がある。	利用者さんが不安定な状態になっても、それぞれの職員が連携し対応できるよう、支援方法の情報共有をこまめに行い、職員全員で協力し、チームでの支援を今後も行っていく。	職員1人々が強度行動障がいのある方の成長に合わせた対応や、適切な支援について更に学ぶ必要があると思う。また、行動が激しくなる前に、より内面の変化を察知するスキルを高める必要がある
2			
3			